

令和6年11月の観光客の動向

1 概要

令和6年11月における調査対象ホテル・旅館84施設の宿泊客数（宿泊延べ人数）は、合計284,271人で、前年同月比2.5%増となった。このうち外国人は、23,179人で前年同月比35.6%増となった。

令和6年11月における調査対象観光施設・ドライブイン25施設の入場・来場者数（延べ人数）は、合計506,471人で、前年同月比1.4%増となった。

(単位:人、%)

	延べ宿泊客数 延べ入場・来場者数	前年同月比	動向
全体	284,271	+2.5	・韓国、台湾からの宿泊客を中心に増加し、前年を上回った。 ・国内からの宿泊客は減少、海外からの宿泊客は増加。 ・国内は九州からの宿泊客が減少。 ・海外は韓国、台湾からの宿泊客が増加。 ・個人客は増加、団体客は減少。
外国人客	23,179	+35.6	・香港航空、チャイナエアライン、チェジュ航空及び中国東方航空の定期便運航再開や大韓航空の増便等により、前年同月を上回った。
主要観光施設 ドライブイン	506,471	+1.4	・クルーズ船客の増加などもあり、前年を上回った。

2 主な地区別の動向

(単位:人、%)

	延べ宿泊客数	前年同月比	動向
鹿児島地区	123,697	+3.9	・国内からの宿泊客、海外からの宿泊客ともに増加。 ・国内は関東からの宿泊客が増加。 ・海外は韓国からの宿泊客が増加。 ・個人客は増加、団体客は減少。
指宿地区	41,359	▲ 1.3	・国内からの宿泊客は増加、海外からの宿泊客は減少。 ・国内は関西からの宿泊客が増加。 ・海外は香港からの宿泊客が減少。 ・個人客はほぼ横ばい、団体客は減少。
霧島地区	44,294	+4.4	・国内からの宿泊客は減少、海外からの宿泊客は増加。 ・国内は中部からの宿泊客が減少。 ・海外は韓国からの宿泊客が増加。 ・個人客、団体客ともに増加。
北薩地区	14,873	+11.4	・国内からの宿泊客は減少、海外からの宿泊客は増加。 ・国内は北陸からの宿泊客が減少。 ・海外は韓国からの宿泊客が増加。 ・個人客は増加、団体客は減少。
大隅地区	16,392	+10.6	・国内からの宿泊客、海外からの宿泊客ともに増加。 ・国内は関東からの宿泊客が増加。 ・個人客、団体客ともに増加。
種子島地区	7,303	+2.6	・国内からの宿泊客は減少、海外からの宿泊客は増加。 ・国内は九州、関東からの宿泊客が減少。 ・海外は韓国、台湾からの宿泊客が増加。 ・個人客、団体客ともに減少。
屋久島地区	8,253	▲ 25.8	・国内からの宿泊客は減少、海外からの宿泊客は増加。 ・国内は関東、九州、関西からの宿泊客が減少。 ・個人客、団体客ともに減少。
奄美地区	24,621	+2.9	・国内からの宿泊客、海外からの宿泊客ともに増加。 ・国内は九州、中国地方からの宿泊客が増加。 ・個人客は増加、団体客は減少。
その他地区	3,479	▲ 6.5	・国内からの宿泊客、海外からの宿泊客ともに減少。 ・国内は九州からの宿泊客が減少。 ・個人客、団体客ともに減少。

注:動向については地域別回答があった先の集計のため、宿泊客数の結果と一致しないところもある

【「宿泊施設」「観光施設・ドライブイン」全体の動向】

宿泊施設と観光施設・ドライブイン 総合(延べ人数)

令和6年11月

(単位:人、%)

	対象施設	宿泊者数 入場・来場者数	前年同月	前年比 (R6/R5) a	参考: R5年対前年比 (R5/R4) b	参考: R4年対前年比 (R4/R3) c	参考: R3年対前年比 (R3/R2) d	参考: R2年対前年比 (R2/R1) e	参考: R1年同月との 比較推計値※ (R6/R1)
主要宿泊施設	84	284,271	277,392	+2.5	▲ 4.0	+9.0	▲ 5.3	▲ 4.5	▲ 2.9
主要観光施設 ドライブイン	25	506,471	499,638	+1.4	+8.7	+0.7	+0.7	▲ 14.5	▲ 4.4

$$\text{※(R1年同月との比較推計値)} = \frac{(100+a) \times (100+b) \times (100+c) \times (100+d) \times (100+e)}{100 \times 100 \times 100 \times 100} - 100$$

【主要宿泊施設の宿泊者】

宿泊客数(延べ人数)

(単位:人、%)

	令和6年11月	前年同月	前年比 (R6/R5) a	参考: R5年対前年比 (R5/R4) b	参考: R4年対前年比 (R4/R3) c	参考: R3年対前年比 (R3/R2) d	参考: R2年対前年比 (R2/R1) e	参考: R1年同月との 比較推計値※ (R6/R1)
合計	284,271	277,392	+2.5	▲ 4.0	+9.0	▲ 5.3	▲ 4.5	▲ 2.9
鹿児島地区	123,697	119,010	+3.9	▲ 0.9	+7.0	+8.3	▲ 17.2	▲ 1.1
指宿地区	41,359	41,906	▲ 1.3	▲ 5.2	+25.3	▲ 30.3	▲ 4.2	▲ 21.7
霧島地区	44,294	42,414	+4.4	▲ 5.1	+1.3	+0.2	+5.7	+6.4
北薩地区	14,873	13,347	+11.4	+16.8	+8.6	▲ 0.4	▲ 19.1	+13.8
大隅地区	16,392	14,825	+10.6	▲ 5.4	+9.4	+2.4	+1.8	+19.4
種子島地区	7,303	7,118	+2.6	+7.5	+7.7	+1.9	+10.9	+34.1
屋久島地区	8,253	11,116	▲ 25.8	▲ 6.6	+28.7	▲ 40.7	+58.8	▲ 15.9
奄美地区	24,621	23,934	+2.9	▲ 19.0	+1.8	▲ 0.6	+11.5	▲ 6.1
その他	3,479	3,722	▲ 6.5	▲ 10.5	+12.0	▲ 11.7	+2.7	▲ 15.1

$$\text{※(R1年同月との比較推計値)} = \frac{(100+a) \times (100+b) \times (100+c) \times (100+d) \times (100+e)}{100 \times 100 \times 100 \times 100} - 100$$

【観光施設・ドライブイン】

入場・来場者数(延べ人数)

(単位:人、%)

	令和6年11月	前年同月	前年比 (R6/R5) a	参考: R5年対前年比 (R5/R4) b	参考: R4年対前年比 (R4/R3) c	参考: R3年対前年比 (R3/R2) d	参考: R2年対前年比 (R2/R1) e	参考: R1年同月との 比較推計値※ (R6/R1)
合計	506,471	499,638	+1.4	+8.7	+0.7	+0.7	▲ 14.5	▲ 4.4
観光施設	408,192	401,185	+1.7	+7.2	+0.7	▲ 0.7	▲ 14.0	▲ 6.2
ドライブイン	98,279	98,453	▲ 0.2	+15.7	+0.7	+6.2	▲ 17.1	+2.4

$$\text{※(R1年同月との比較推計値)} = \frac{(100+a) \times (100+b) \times (100+c) \times (100+d) \times (100+e)}{100 \times 100 \times 100 \times 100} - 100$$

【 発地別宿泊客数の動向 】

1 地域別

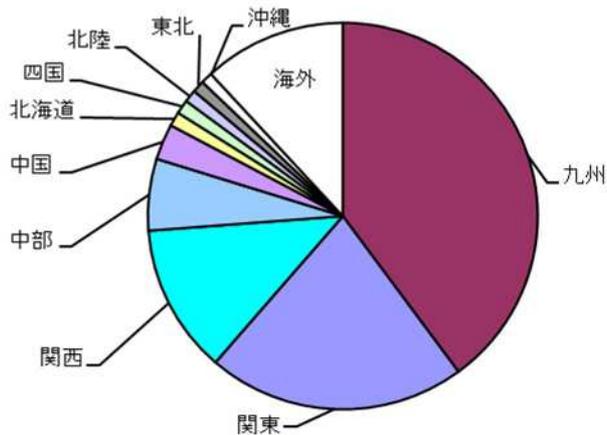
宿泊客数を地域別にみると、九州 78,141 人（構成比 39.9%）が最も多く、次いで関東 42,007 人（同 21.4%）、関西 24,403 人（同 12.5%）の順となっている。

地域別宿泊客数(延べ人数)

(単位：人、%)

	令和6年11月 (構成比)	前年同月	前年比
合計	195,878 (100.0)	192,734	+1.6
北海道	2,332 (1.2)	2,431	▲ 4.1
東北	1,958 (1.0)	1,878	+4.3
関東	42,007 (21.4)	40,220	+4.4
北陸	2,041 (1.0)	2,801	▲ 27.1
中部	11,733 (6.0)	12,323	▲ 4.8
関西	24,403 (12.5)	24,431	▲ 0.1
中国	5,872 (3.0)	5,811	+1.0
四国	2,311 (1.2)	1,989	+16.2
九州	78,141 (39.9)	82,220	▲ 5.0
沖縄	1,901 (1.0)	1,542	+23.3
海外	23,179 (11.8)	17,088	+35.6

地域別宿泊客数



注：地域別回答があった先の集計のため、宿泊客数全体とは一致しない
端数調整により、合計と内訳が一致しないところがある

2 九州県別内訳

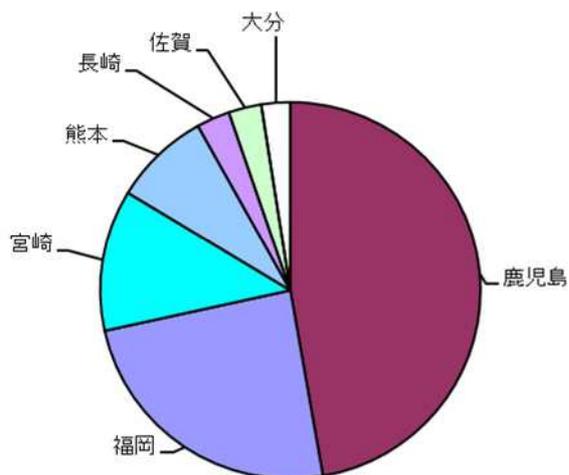
九州からの宿泊客数を県別にみると、県内 36,922 人（構成比 47.3%）が最も多く、次いで福岡 18,990 人（同 24.3%）、宮崎 9,487 人（同 12.1%）が続いている。

九州県別内訳(延べ人数)

(単位：人、%)

	令和6年11月 (構成比)	前年同月	前年比
合計	78,141 (100.0)	82,220	▲ 5.0
福岡	18,990 (24.3)	19,061	▲ 0.4
佐賀	2,175 (2.8)	1,932	+12.6
長崎	2,210 (2.8)	2,406	▲ 8.1
熊本	6,439 (8.2)	6,602	▲ 2.5
大分	1,918 (2.5)	2,135	▲ 10.2
宮崎	9,487 (12.1)	10,735	▲ 11.6
鹿児島	36,922 (47.3)	39,349	▲ 6.2

九州県別内訳



注：地域別回答があった先の集計のため、宿泊客数全体とは一致しない
端数調整により、合計と内訳が一致しないところがある

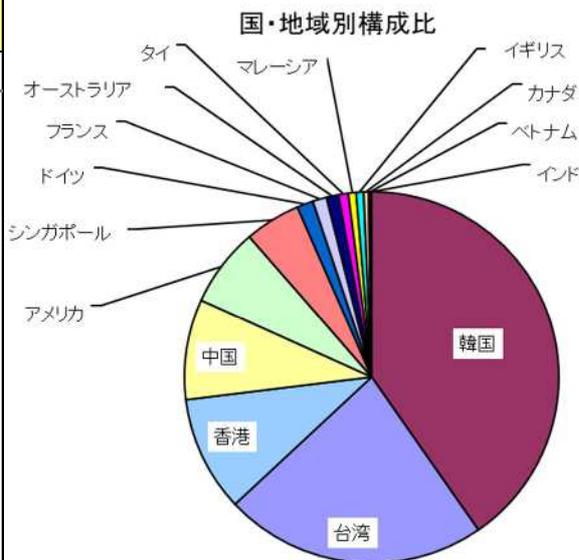
3 国・地域別内訳

海外からの宿泊客のうち、アジア地域別にみると、韓国 8,758 人（構成比 37.9%）が最も多く、台湾 4,923 人（同 21.2%）、香港 2,177 人（同 9.4%）、中国 1,897 人（同 8.2%）、シンガポール 1,049 人（同 4.5%）の順となっている。

また、アジア以外の地域はアメリカ 1,494 人（同 6.4%）、ドイツ 307 人（同 1.3%）となった。

国・地域別内訳(延べ人数)

	令和6年11月 (構成比)	前年同月	前年比	参考: R1年同月との比較推計値※ (R6/R1)
合計	23,179 (100.0)	17,088	+35.6	▲ 11.4
韓国	8,758 (37.9)	4,291	+104.1	+465.1
台湾	4,923 (21.2)	3,946	+24.8	▲ 34.2
香港	2,177 (9.4)	2,875	▲ 24.3	▲ 73.3
中国	1,897 (8.2)	1,499	+26.6	▲ 52.9
アメリカ	1,494 (6.4)	795	+87.9	+53.3
シンガポール	1,049 (4.5)	866	+21.1	-
ドイツ	307 (1.3)	218	+40.8	-
フランス	260 (1.1)	316	▲ 17.7	-
オーストラリア	227 (1.0)	219	+3.7	-
タイ	184 (0.8)	345	▲ 46.7	▲ 32.4
マレーシア	145 (0.6)	151	▲ 4.0	-
イギリス	140 (0.6)	180	▲ 22.2	▲ 59.1
カナダ	93 (0.4)	134	▲ 30.6	-
ベトナム	37 (0.2)	29	+27.6	▲ 9.8
インド	18 (0.1)	36	▲ 50.0	-
その他	1,470 (6.3)	1,188	+23.7	+7.7



注：国・地域別回答があった先の集計のため、地域別宿泊客数とは一致しない
端数調整により、合計と内訳が一致しないところがある

$$\text{※(R1年同月との比較推計値)} = \frac{(100 + R6/R5) \times (100 + R5/R4) \times (100 + R4/R3) \times (100 + R3/R2) \times (100 + R2/R1)}{100 \times 100 \times 100 \times 100} - 100$$

【形態別宿泊客数の動向】

宿泊客を形態別にみると、個人客（含む家族・小グループ）が 188,868 人（構成比 81.5%）、団体客（15名以上）は 42,848 人（同 18.5%）となった。

形態別宿泊客数(延べ人数)

(単位:人、%)

	令和6年11月 (構成比)	前年同月	前年比
合計	231,716 (100.0)	228,886	+1.2
個人客(含む家族・小グループ)	188,868 (81.5)	181,274	+4.2
団体客(15名以上)	42,848 (18.5)	47,612	▲ 10.0
内			
団体小計	42,848 (100.0)	47,612	▲ 10.0
一般団体・企画商品	32,169 (75.1)	34,442	▲ 6.6
大会	2,614 (6.1)	2,632	▲ 0.7
修学旅行	8,065 (18.8)	10,538	▲ 23.5

注：回答のあった先のみの集計のため、全体合計とは一致しない

【 宿泊単価・売上金額・購入単価の動向 】

1 宿泊単価

宿泊単価のうち、客室単価は、前年同月と比較して「高い」と答えた施設は 46.0%、「前年並み」と答えた施設は 40.5%、「低い」と答えた施設は 13.5%となった。

付帯消費額については、前年同月比で「高い」は 22.5%、「前年並み」は 66.2%、「低い」は 11.3%となった。

宿泊単価

令和6年11月		(単位:%)	
	客室単価	付帯消費額	
合 計	100.0	100.0	
高 い	46.0	22.5	
前年並み	40.5	66.2	
低 い	13.5	11.3	

※端数調整により、合計と内訳が一致しないところがある

2 売店の売上金額・購入単価

観光施設・ドライブインの売店の売上金額については、前年同月と比較して「増加」と答えた施設は 12.4%、「前年並み」と答えた施設は 43.8%、「減少」と答えた施設は 43.8%となった。

また、1人当たりの購入単価については、前年同月比で「増加」と答えた施設は 25.0%、「前年並み」と答えた施設は 56.2%、「減少」と答えた施設は 18.8%となった。

売上金額・購入単価

令和6年11月		(単位:%)	
	売上金額	購入単価	
合 計	100.0	100.0	
増 加	12.4	25.0	
前年並み	43.8	56.2	
減 少	43.8	18.8	

※端数調整により、合計と内訳が一致しないところがある

【12・1月の宿泊客数、入場・来場者数見込みの動向】

1 宿泊客数の見込み

12月の宿泊客数の見込みについては、前年同月と比較して26.7%の施設が「増加」と答えた。「昨年並み」と答えた施設は53.3%となった。「減少」と答えた施設は20.0%となった。

1月の宿泊客数の見込みについては、前年同月と比較して31.1%の施設が「増加」と答えた。「昨年並み」と答えた施設は50.0%となった。「減少」と答えた施設は18.9%となった。

宿泊客数の見込み(前年同月比)

令和6年11月		(単位:%)	
		12月見込み	1月見込み
合計		100.0	100.0
増加	小計	26.7	31.1
	50%以上	1.3	1.4
	30~50%	1.3	2.7
	1~30%	24.0	27.0
昨年並み		53.3	50.0
減少	小計	20.0	18.9
	1~30%	18.7	14.9
	30~50%	1.3	2.7
	50%以上	0.0	1.4

※端数調整により、合計と内訳が一致しないところがある

2 観光施設・ドライブインの入場・来場者数の見込み

12月の観光施設・ドライブインの入場・来場者数の見込みについては、前年同月と比較して14.3%の施設が「増加」と答えた。「昨年並み」と答えた施設は64.3%、「減少」と答えた施設は21.4%となった。

1月の観光施設・ドライブインの入場・来場者数の見込みについては、前年同月と比較して15.4%の施設が「増加」と答えた。「昨年並み」と答えた施設は61.5%、「減少」と答えた施設は23.1%となった。

入場・来場者数の見込み(前年同月比)

令和6年11月		(単位:%)	
		12月見込み	1月見込み
合計		100.0	100.0
増加	小計	14.3	15.4
	50%以上	0.0	0.0
	30~50%	0.0	0.0
	1~30%	14.3	15.4
昨年並み		64.3	61.5
減少	小計	21.4	23.1
	1~30%	7.1	7.7
	30~50%	7.1	7.7
	50%以上	7.1	7.7

※端数調整により、合計と内訳が一致しないところがある

調査の概要

本県の最新の観光客の動向を定期的に把握し、本県観光の誘致対策等に役立てるとともに、観光関係者のビジネスや効果的な事業展開などにも広く活用していただくため、県内主要宿泊施設、観光施設等への宿泊・入り込み状況について、アンケート調査を実施いたしました。

・調査期間 令和6年11月1日～11月30日

・調査項目

- | | | |
|-----------------|---|--|
| ホテル・旅館 | { | <ul style="list-style-type: none"> ① ホテル・旅館の全宿泊者数（延べ人数） ② 方面別宿泊者数（国内地域、海外） ③ 海外宿泊者数（国・地域別内訳） ④ 宿泊単価（客室単価、付帯消費額）
対前年比「高い」、「昨年並み」、「低い」から選択 ⑤ 12、1月の宿泊客数見込み（対前年比「増加」、「昨年並み」、「減少」から選択し、増減割合を「1～30%」、「30～50%」、「50%以上」から選択） |
| 観光施設・
ドライブイン | { | <ul style="list-style-type: none"> ① 入場者来場者数（延べ人数） ② 売店売上金額（対前年比「増加」、「昨年並み」、「減少」から選択） ③ 一人当たり購入金額（対前年比「上昇」、「昨年並み」、「下落」から選択） ④ 12、1月の入場・来場者数見込み（対前年比「増加」、「昨年並み」、「減少」から選択し、増減割合を「1～30%」、「30～50%」、「50%以上」から選択） |

・調査対象

(1) ホテル・旅館	84 施設	鹿児島地区	18
		指宿地区	12
		霧島地区	11
		種子島地区	6
		屋久島地区	5
		奄美地区	12
		大隅地区	8
		北薩地区	6
		その他地区	6
(2) 観光施設	20 施設		
(3) ドライブイン	5 施設		